

# カメラ レポート

## 釣り糸を 捨てないで

石土池周辺で六月一日、心ない釣り人が捨てる釣り糸が原因で死んだり、足を失う野鳥を守ろうと、近く



の十市小学校の児童らが、釣り糸などの回収作業を行っています。県や日本野鳥の会などの主催。

石土池はサギ、カモ類を中心に百種類以上の野鳥の飛来地。また、ブラックバスの釣り場としても知られています。この日は児童のほか、保護者や教職員、市関係者など約三百九十人が参加。ごみ袋を片手に透明で見えにくい釣り糸のほか、空き缶などのゴミも回収。約一時間の作業で二トントラック二百台分のゴミを収集しました。

## 民生委員さんと 協力して梅取り

日本谷の福祉梅林園で六月三日、日本谷小学校の全校児童らが民生委員さんと梅の実を収穫しました。

校庭で、子どもたちは「民生委員さんが手入れしてくれた梅林園での梅取りが楽しみです」とあいさつした後、七つの班に分かれ福祉梅林園へ。

民生委員さんと協力し合いながら、約一時間の作業で、百三十キロを収穫。今年で八回目となるこの取り組み、収穫した梅は、市内の老人ホームなどの福祉施設へ配られたり、梅ジュースにしたりします。



## 国分川で水難救助訓練

水のシーズンを迎えた六月十八日、岡豊橋下流の国分川河川敷で南国警察署・南国消防署合同の水難者救助訓練が行われました。訓練は救助資器材の取り扱いを習熟し、さらに警察と消防が連携を密にするところで、水難者を早期に救助しようとする毎年行っているもので、警察・消防署員ら約四十人が参加。サーフボード、ゴムボートを使っての救助訓練や、人口呼吸法などが行われました。

また、この日は近くの岡豊保育所の児童らも見学に訪れており、ときには走り行動する職員らの訓練を見入っていました。



## 伊都多神社で

## 津波を想定した非難訓練

「ただ今のサイレンは、津波による避難訓練の合図です」という放送により六月五日の前浜伊都多神社における避難訓練が始まりました。これは、平成八年度高知県総合防災訓練の一環として、津波による避難訓練を行い、避難経路および一次的避難場所の周知のために実施されたものです。



サイレンを聞き、次々と避難場所へと集まった周辺の住民に、前浜婦人防火クラブの皆さんによって用意されたおにぎりが配られました。



▲中央公民館活動のサークル「サツキ教室」の花季展示会が、五月二十六日から三十日まで中央公民館ロビーで開催されました。これは、会員らが丹精こめて映かせたもの。白、ピンク、赤など色鮮やかで、枝ぶりも見事。訪れた人たちの目を魅きました。

▼六月二日、市内に住む四十五歳から七十四歳の女性四十九人が体育指導員連絡協議会主催のハイキング（軽登山）を楽しみました。愛媛県新宮村塩塚峠へに出かけた一行は、頂上から眺める素晴らしい景色と、バラグライダーのショーに大感激。さわやかな一日を過ごしました。



▼大湊の初夏の風物詩となったエンコウ祭りが6月1日、前浜や久枝など後川筋一帯で開催されました。集落ごとに橋のたもとなどに出て、子どもたちがショウブの葉などで「ほこら」を作り、エンコウの好物のキュウリや酒を供え、「ことしも水の事故がありませんように」と手を合わせました。夕暮れとともに、橋の上のちようちんに灯がともされ、花火もあちこちで上がり、ひと足早い夏の風情を楽しみました。



▶6月10日、後免野田小学校で、三校（長岡小・後免野田小・霧ヶ池中）PTA合同子育て推進講座が開催されました。「子育ては親育ち」といわれるように次代を担う子どもを育てるために、100人を超す保護者らが、今親として何をすべきかを学習しました。なお、この講座は7月15日まで4回コースで行われる予定です。



▲黒鷲旗第七回全日本都府対抗九人制バレーボール県大会で見事優勝を果たし、大阪府立体育館で行われる全国体に出場が決まった、南国クラブが五月二十七日、有馬所を訪ね、浜田市長から市旗を受け取った。沢本監督、窪田主将らは全国大会での勝利を誓いました。



▼5月26日、市長・議長杯バレーボール大会が市民体育館で開かれ、男女合わせて10チームが参加、コートゼマシとボールを追いかけ、熱戦を繰り広げました。なお、優勝チームは、市長杯（男子の部）が栄光工業、議長杯（女子の部）が川久保建設でした。



▶6月2日、市PTA連合会の体育交歓会が香南中学校などを会場に開かれました。ことしが19回目。午前9時からの開会式の後、それぞれの会場で熱戦が繰り広げられ、参加者らは心地よい汗を流していました。なお、バレーボールは三和PTAが優勝、ソフトボールでは、北陵中PTAと香長中PTAが優勝を分け合いました。



▲5月26日、恒例のゲートボール大会が大藤小学校のグラウンドで開かれました。大藤子ども会連合会の主催で、ことしが14回目。この日は大藤22地区のうち13単位区の子ども会から、約100人が参加。保護者らが見守る中、児童らは、日ごろから地区でゲートボールを楽しんでいるお年寄りらの指導を受けながら、真剣にボールを打っていました。